

小田原労働基準監督署 建設業の墜落・転落災害の概要（令和元年7月末日現在）

	業種	発生年月	起因物	傷病名	休業見込	発生状況の概要
1	土木	31年2月	階段	腰椎圧迫骨折	3か月	事務所の片付け作業中、階段を上っていたとき、下から3段目付近で足を踏み外して転落し、床に腰を打ち付けた。
2	建築	31年2月	型枠支保工	腰骨圧迫骨折	5か月	コンクリート造建物の改修・増築工事において、コンクリート型枠の解体作業をしていたとき、型枠の上から型枠材と共に約2.5m下のコンクリート面に墜落した。
3	土木	31年3月	トラック	右手と左足の骨折	3か月	工事現場内で、2トン・ダンプトラック（高さ約1m）の荷台の上で資材等を降ろしているときに、資材に躓いて転倒し、荷台の下の地面に墜落した。
4	建築	31年3月	屋根	右腓骨・右肋骨骨折	1か月	2階建木造家屋のリフォーム工事中、2階の軒天を交換するとき、2階のベランダの柵によじ登って2階屋根の雨どいを左手でつかんだところ、雨どいが抜け、約3m下の地面に墜落した。
5	土木	31年3月	道板	頸椎損傷	10日	池の改修工事を行っているとき、池の中にドラグショベルを入れて作業をしていたが、作業が終わったので、道板を使用し、ドラグショベル運転して池の外に出そうとしたところ、運転席が外れ、道板の上から背中向きに池の底に転落した。（墜落高さ：2m未満）
6	土木	31年4月	階段	腰骨骨折	3か月	資材置場の片付け作業をしているとき、階段から約2m下の床に転落した。
7	土木	元年6月	作業床	腰椎骨折	3か月	道路脇の傾斜地の上で作業をしているとき、工具を傾斜地の上に置いたら、工具が傾斜地の上进行して滑り落ちたので、工具を取りに行ったところ、傾斜地の面上を滑り、約10m下の道路に転落した。
8	土木	元年7月	作業床	外傷性くも膜下出血	死亡	道路脇の傾斜地の上で伐木作業をしているとき、作業が一段落し、傾斜地の上に立っていたところ、約10m下の道路に転落し、頭部を地面に打ち付けた。
9	建築	30年11月	作業床	外傷性くも膜下出血	死亡	木造家屋の改修工事において、一側足場の上で外壁の左官作業を行っていたとき、1.5m下の地面に転落し、更にその3.4m下の川に転落した。
10	建築	30年11月	作業床	頭部多発外傷	死亡	木造家屋の新築工事において、一側足場の上で外部バルコニーの塗装作業を行っていたとき、2.2m下の地面に転落した。

※上の表の「9」と「10」は、昨年11月に当署管内で発生した、木造家屋建築工事における死亡災害の概要です。